

IV 普及・展示事業

1. 展示

広く一般多数の方々を対象とした東洋学の普及を図る手段として、「東洋文庫ミュージアム」を運営した。

A. 基本方針

このミュージアムでは、特に東洋学に興味を持たない一般の方々を主な対象とし、幅広い世代の利用者に、ミュージアム見学を通して東洋学に興味を持つ機会を提供するものである。本ミュージアムは、東洋文庫の蔵書・史料を中心に種々の展示企画を組み立て、常に新たな発見と変化のある展示を心がけている。

B. 展示手法

広く一般の方々にミュージアム訪問の興味を喚起するため、①見学に適切な規模の展示内容とし、②展示の解説は日頃東洋学とは疎遠な利用者にも十分理解できる簡易なものとし、③デジタル技術等を取り入れた視聴覚的かつ斬新な展示で利用者の興味を引くことに努めた。

C. 施設

温度・湿度管理、窒素ガス消火設備運用により、展示図書・資料の保全に万全を期した。また、併設のギフト・ショップ、ミュージアム・カフェでは、東洋文庫の所蔵資料も紹介し、一般利用者に対してミュージアムの魅力を高め、東洋学普及の一翼を担う、ミュージアムの一体施設として運営した。

D. 展示スケジュール

名品展と企画展の組み合わせからなる展示スケジュールを立て、以下の展示を開催した。

(1) 名品展は国宝と重要文化財などの指定品のほか、東洋文庫が所蔵する名品を、年3回内容を変更して公開した。

(2) 以下の企画展を開催し、図録を発行した。

〈企画展〉

①「ハワイと南の島々展」(2018年1月18日～5月27日)

②「悪人か、ヒーローか」(2018年6月6日～9月5日)

③「大♡地図展 古地図と浮世絵」(2018年9月15日～2019年1月14日)

④「インドの叡智展」(2019年1月30日～5月19日)

〈名品展〉

「記録された記憶～東洋文庫の書物からひも解く世界の歴史」

(3) 各企画展において展示図録を作成した。全ページカラーで画像を多用し、解説文も平易で分かりやすいものに仕上げた。A5版でハンディなブックレットタイプである。

(4) 上記企画展会期中に公開講座(企画展示記念講座)を開催した。講演者と演題は107～110頁の通りである。

(5) 六義園特別展示「六義園をめぐる歴史」を開催した。

会期：①3月21日～4月2日

②11月21日～12月10日

会場：東洋文庫ミュージアム1階オリエントホール

E. ガイドツアー

ミュージアムへの来客サービス・集客戦略の一環として、館内ガイドツアーを実施し、好評を得た(企画展会期中、希望者がいる場合は15時に開催)。

F. ミュージアム諮問委員会

ミュージアムの運営について外部有識者の意見を取り入れるため、第4回ミュージアム諮問委員会を2018年7月9日(月)に開催した。

G. 学習支援事業

(1) 学校連携

① 東京藝術大学との協力協定により、記念コンサートを複数回ミュージ

アム内にて開催し、多数の来場者を得た。また、同学彫刻科の卒業作品から一作品を選出して「東洋文庫賞」を授与し、東洋文庫敷地内のオープンスペースにて1年間作品を展示した。

- ② 成蹊大学図書館との協力協定により、東洋文庫の貴重書を大学図書館入口にて常設展示した。
 - ③ スクールパートナーシップを結んでいる東京都立小石川中等教育学校の中学1年生160名の見学会を実施（4月28日）。
 - ④ 文京区立駕籠町小学校の社会科授業を学芸員が2回にわたり行った（6月11日、7月19日）。
 - ⑤ スクールパートナーシップを結んでいる東京都立小石川中等教育学校の中学2年生2名に6月19日～6月21日の3日間学芸員他が対応し、ミュージアム受付補助やガイド、パネル作成等の職場体験を行った。また、高校1年生2名を7月23日、7月24日に図書部閲覧室で受け入れ、社会参加（人間と社会）体験活動を行った。
 - ⑥ キャンパスパートナーシップを結んでいる青山学院大学文学部の学生2名に8月1日～8月3日・8月7日～8月9日の6日間、東洋大学文学部の学生2名に12月3日～12月6日・12月10日～12月12日の7日間学芸員が対応し、博物館実習を行った。
 - ⑦ 海城中学高等学校の希望者へ向けて、学芸員が古地図の講座を行った。参加者は学生18名、教員3名（8月20日）。
 - ⑧ 文京区立駕籠町小学校2年生の授業「まちたんけん」に学芸員が対応した（9月28日）。
 - ⑨ 筑波大学附属視覚特別支援学校中学部男子1名、女子1名に東洋文庫ミュージアム運営に関する職場体験を実施した（11月16日）。
 - ⑩ 海城中学高等学校の希望者23名に対し、「漢字展」に関する事前知識および展示案について意見交換会を開き、博物館の展示にアドバイザーとして参加する機会を設けた（3月11日）。
 - ⑪ インターン制度を設け、第9期（3月～6月）2名、第10期（7月～9月）2名、第11期（11月～2月）1名に学芸員が対応し、就業経験をさせた。
- (2) ミュージアムワークショップ、イベント

幅広い年齢層にミュージアムをお楽しみ頂くために、学習支援事業の一環として、下記のワークショップとイベントを開催した。

- ① 4月14日（土）「座ったままでもできるフラ♪」、「はじめてのフラー

- 1 曲踊れるようになる」 講師：古賀まみ奈（フラダンサー）
- ② 5月3日（木・祝）「ハワイ DAY！」 出演：東京大学フラダンスサークル KaWelina、古賀まみ奈（フラダンサー）、西里慶（ハワイアンミュージシャン）
- ③ 8月9日（木）「親子で楽しむ！悪人 or ヒーロー」 講師：篠木由喜（東洋文庫研究員・学芸員）
- ④ 10月14日（日）「ご朱印帳をつくろう♪」 講師：篠木由喜（東洋文庫研究員・学芸員）

H. 文京区向けの普及活動

- (1) 文京区立千石図書館との連携講座として、近隣住民を対象に、研究員の案内によるバックヤードツアー（8月13日）、学芸員による講演会（8月19日）を開催した。
- (2) 文京区の文の京ミュージアムネットワークの会員として文京ミューズフェスタ（各施設による展示・体験コーナー、PRポスター、パネル等の掲示）に参加した（12月20日、於：文京区役所1F）。

I. 図書展示コンサルティング

ミュージアムにおける図書資料展示の経験を役立てるため、学芸員が下記の図書館・団体に講演と実演を行った。

- (1) 山口県公立図書館職員等専門講習会（11月9日、於：山口県立山口図書館）

J. 入場者数

2018年4月1日～2019年3月31日における、ミュージアム総入場者数は以下のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入場者数	3,080人	4,185人	2,888人	3,499人	4,101人	3,524人
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4,297人	5,553人	4,477人	3,292人	2,959人	4,283人	46,138人

2. 広報普及

東洋文庫所蔵の図書・史料の掲載・報道・放映等の依頼に適宜対応すると共に、ホームページを随時更新し、利便性を確保した。東洋学の若年層への普及を目指し、学校連携活動も行った。

A. 要人の訪問

5月7日(月) ホセ・カスティリョ・ラウレル5世駐日フィリピン大使
5月9日(水) ガブリエル・ドゥケ駐日コロンビア大使

他

B. 報道実績

ミュージアムに関する報道実績の主なものを以下に挙げる。

新聞：『朝日新聞』、『東京新聞』、『毎日新聞』、『読売新聞』など

テレビ：テレビ東京『風景の足跡』（2019年1月8日(火)放送）

NHK・Eテレ『日曜美術館』アートシーン（2019年3月3日(日)放送）など

C. 『東洋見聞録』

東洋文庫の活動をご支援頂いている「名誉文庫員」、「友の会会員」、職員OBほか関係者をつなぐニュースレターとして発行・頒布した。

D. メールニュース

東洋文庫ミュージアムのメールニュースをメール会員向けに毎月発信した。

E. 中学・高校・大学とのミュージアム・フリーパス連携

・小石川中等教育学校とのミュージアム・フリーパス連携を引き続き締結した。

・青山学院大学文学部史学科、東洋大学文学部・大学院文学研究科とキャンパスパートナーシップを引き続き締結した。

F. ミュージアム入場者数増加のための取り組み

ミュージアム入場者数を増やすため、2018年4月より（公財）東京都歴史文化財団発行の「ぐるっとパス」に参加した。

G. 他機関との連携

「悪人か、ヒーローか」（6月6日～9月5日）開催にあわせ、太田記念美術館、國學院大学博物館、ヴァニラ画廊、国立劇場伝統芸能情報館、国立演芸場演芸資料展示室、銀座蔦屋書店と「多分野連携展示「悪」というテーマで連携をはかった。共通チラシの配布、HP ページ相互リンク、相互割引、トークイベントの開催、ブックフェアの実施などを連携館などの協力のもとで行った。

H. 東洋文庫アカデミア

東洋文庫研究員をはじめとする各分野の専門家が講師となり、所蔵資料やこれまでの研究成果などの専門知識をわかりやすく教授する市民向け講座を下記のとおり実施した。

講座名	講師（所属）	期間	人数
イスラーム美術の細密画	青木節子（トルコ細密画と文化史の会）	2018年4月9日 ～5月28日	3
初歩の水墨画講座—風景を写生するⅡ	伊藤忠綱（二松学舎大学非常勤講師）	2018年4月14日	12
『論語』で学ぶ満洲語～文献史料類を読むための満洲語文語入門講座：初級篇	石橋崇雄（東洋文庫研究員）	2018年4月13日 ～5月11日	6

講座名	講師（所属）	期間	人数
イランの芸術—ペルシア書道に親しむシャーナーメー（王書）	角田ひさ子（拓殖大学言語文化研究所講師）	2018年4月7日 ～4月21日	6
海の歴史を見る—ポリネシア人の大航海から南シナ問題まで（太平洋編）	ミシュラン・フランク（帝京大学教授）	2018年4月4日 ～5月23日	6
彝族の言葉と文字	岩佐一枝（名城大学非常勤講師）	2018年4月21日、 22日	12
初歩の水墨画講座—大型動物を描くⅠ	伊藤忠綱（二松学舎大学非常勤講師）	2018年5月12日 ～7月28日	10
漢字研究最先端—漢検漢字文化研究所東京講座	阿辻哲次（漢字文化研究所所長、京都大学名誉教授）、笹原宏之（早稲田大学教授）、吉川雅之（東京大学准教授）、ジスク・マシュー（山形大学准教授）、岩月純一（東京大学准教授）、円満字二郎（辞書編集者）	2018年5月12日 ～7月21日	71
中国古典から「四書」を楽しむ！	山本節子（獨協大学オープンカレッジ講師、リスタート・ウーマン代表）	2018年5月14日 ～7月2日	2
イランの芸術—ペルシア書道に親しむ「国語のなかの文字」	角田ひさ子	2018年5月19日 ～7月21日	5
『論語』で学ぶ満洲語～文献史料類を読むための満洲語文語入門講座：初級篇Ⅱ	石橋崇雄	2018年5月25日 ～8月31日	4
イスラーム美術の細密画	青木節子	2018年6月11日 ～8月27日	5
中国琵琶で楽しむ「中国漢詩の世界」	于溪瑩（中国琵琶奏者、中国古典楽器音楽教室主宰）	2018年6月23日	15

講座名	講師（所属）	期間	人数
中国医学史散策—本当の〈健（すこやかさ）〉	角屋明彦（明治大学非常勤講師）	2018年7月22日 ～8月19日	23
イスラーム美術の細密画	青木節子	2018年9月10日 ～11月26日	4
初歩の水墨画講座—大型動物を描くⅡ	伊藤忠綱	2018年9月15日 ～11月10日	11
イランの芸術—ペルシア書道に親しむ「5書体へのちょっぴり挑戦」	角田ひさ子	2018年9月15日 ～12月22日	9
楔形文字を読む	森若葉（国士舘大学研究員、京都大学大学院文学研究科非常勤講師）	2018年9月15日、 16日	7
知の宝庫—古代の図書館から現代までⅠ	池田勇（元二松学舎大学非常勤講師）	2018年9月26日 ～11月21日	3
満洲の歴史Ⅰ	宮脇淳子（東洋文庫研究員）	2018年9月29日 ～12月15日	18
イランの芸術—ペルシア書道に親しむ「ライラーとマジヌーン物語」	角田ひさ子	2019年2月2日 ～3月16日	6
満洲の歴史Ⅱ	宮脇淳子	2019年2月2日 ～3月23日	17
初歩の水墨画講座（『百花詩箋譜』を描く）Ⅰ	伊藤忠綱	2019年2月9日 ～3月23日	13
エブル（トルコのマープリング）作成体験講座	高坂雅子（エブルの会）	2019年2月9日、 3月9日	8
2日で学ぶ与那国語	山田真寛（国立国語研究所准教授）	2019年2月16日、 17日	7
イスラーム美術の細密画	青木節子	2019年2月25日 ～3月25日	7
学術刊行物のための校正・校閲術（指摘だし・入朱テクニック）	中村威也（東洋文庫研究部）	2019年3月16日、 17日	14

以上